

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月9日

上場会社名 株式会社横田製作所 上場取引所 東
 コード番号 6248 URL http://www.aquadevice.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三浦 眞理夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理総務部長 (氏名) 石田 克之 (TEL) 082-241-8674
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	695	5.2	72	63.4	70	63.2	47	55.3
27年3月期第2四半期	660	△3.7	44	50.1	43	277.8	30	819.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第2四半期	25.35		—					
27年3月期第2四半期	16.32		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,025	1,631	80.6
27年3月期	2,042	1,623	79.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 1,631百万円 27年3月期 1,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	21.00	21.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,650	7.5	220	8.4	220	7.5	147	15.2	78.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年3月期2Q	1,873,500株	27年3月期	1,873,500株
28年3月期2Q	36株	27年3月期	36株
28年3月期2Q	1,873,464株	27年3月期2Q	1,873,464株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、内閣府が発表した8月の機械受注統計によると、設備投資の先行指数である船舶・電力を除いた民需の受注額(季節調整値)は前月比で5.7%の減と3ヶ月連続で縮小しており、中国経済の減速や国内個人消費の不振を受けて企業マインドが慎重化しており、設備投資計画の実行の様子見している状況となっております。

このような状況のもと、当社は相対的優位性のある既存領域を確保しつつ、技術開発力を高め、既存製品の改良や性能向上による差別化により新たな需要分野への展開・進出を図り、生産性の向上とコスト削減により採算重視の経営に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の受注につきましては、国内食品関連企業への脱泡脱気ポンプの受注が好調であったことなどにより、767,858千円(前年同期比1.5%増)となりました。売上高につきましては、国内一般製造工場等をはじめとして広範な業種においてポンプの販売が好調であったことなどにより、695,105千円(同5.2%増)となりました。営業損益は、採算性の高い製品が好調であったことや技術派遣等のサービス関連の売上を計上したことなどにより、72,174千円(同63.4%増)の営業利益となりました。経常損益は、営業利益とほぼ同額の70,739千円(同63.2%増)の経常利益となりました。この結果、当第2四半期累計期間の四半期純利益は、47,498千円(同55.3%増)となりました。

当社の製品別の業績は次のとおりであります。

[ポンプ製品]

受注面では、官公庁や電力会社関連企業からの受注は減少したものの、国内食品関連企業や石油化学関連企業、国内一般製造工場等では好調であったため、363,008千円(前年同期比15.0%増)となりました。

売上高につきましては、電力会社関連企業への販売は減少したものの、機械関連企業や電子関連企業、国内一般製造工場等の広範な業種への販売が好調で、351,689千円(同15.8%増)となりました。

[バルブ製品]

受注面では、機械関連企業や電子関連企業で好調であったものの、官公庁や海外からの受注が減少したため、94,094千円(前年同期比27.6%減)となりました。

売上高につきましては、官公庁への販売は好調であったものの、機械関連企業や電子関連企業への販売は減少したため、58,459千円(同4.1%減)となりました。

[部品・サービス]

受注面では、機械関連企業や電子関連企業は好調であったものの、官公庁からの受注が減少したことなどにより、310,756千円(前年同期比0.1%増)となりました。

売上高につきましては、官公庁や国内一般製造工場への販売が低調であったため、284,957千円(同3.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比較して17,405千円減少し、2,025,470千円となりました。その主な増減要因は、仕掛品が35,173千円、原材料及び貯蔵品が7,310千円、繰延税金資産などのその他の流動資産が6,582千円、有形固定資産が10,560千円それぞれ増加したものの、受取手形及び売掛金が78,279千円減少したことなどによります。

負債につきましては、前事業年度末と比較して25,561千円減少し、393,628千円となりました。その主な増減要因は、買掛金が12,225千円、賞与引当金が29,157千円それぞれ増加しましたが、未払法人税等が7,123千円、未払消費税等のその他の流動負債が46,617千円、退職給付引当金が16,612千円それぞれ減少したことなどによります。

また、純資産は、前事業年度末と比較して8,156千円増加し、1,631,841千円となりました。その主な増減要因は、利益剰余金が四半期純利益を47,498千円計上したものの、株主配当金の支払のため39,342千円減少したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物は、757,615千円となりました。

当第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、72,772千円の資金流入となりました。その主な要因は、税引前四半期純利益を70,739千円、減価償却費を16,426千円それぞれ計上したこと、売上債権の78,279千円の減少や仕入債務12,225千円、賞与引当金29,157千円の増加などの資金増加要因があったものの、たな卸資産の44,339千円の増加や退職給付引当金16,612千円、未払消費税等のその他の流動負債の減少などで41,355千円減少したこと、法人税等の支払34,540千円の資金減少要因があったことなどによります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、905千円の資金流出となりました。その主な要因は、定期預金の払戻しにより46,000千円の資金増加要因があったものの、定期預金の預入により18,000千円、有形固定資産の取得により28,521千円の資金減少要因があったことなどによります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、39,300千円の資金流出となりました。その主な要因は、株主配当金の支払いにより39,300千円の資金減少要因があったことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月14日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,018,049	1,022,615
受取手形及び売掛金	309,735	231,455
商品及び製品	3,570	5,425
仕掛品	46,276	81,449
原材料及び貯蔵品	73,222	80,533
その他	35,729	42,312
貸倒引当金	△2,468	△1,851
流動資産合計	1,484,115	1,461,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	56,815	61,480
機械及び装置(純額)	69,045	71,954
工具、器具及び備品(純額)	8,939	12,875
土地	366,082	366,082
その他(純額)	4,670	3,720
有形固定資産合計	505,553	516,114
無形固定資産	3,257	2,902
投資その他の資産	49,948	44,512
固定資産合計	558,759	563,529
資産合計	2,042,875	2,025,470
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,615	52,840
未払法人税等	36,163	29,039
製品保証引当金	4,759	4,866
賞与引当金	36,855	66,012
その他	121,433	74,815
流動負債合計	239,825	227,574
固定負債		
退職給付引当金	103,871	87,259
役員退職慰労引当金	75,492	78,794
固定負債合計	179,364	166,053
負債合計	419,189	393,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	130,583	130,583
資本剰余金	122,580	122,580
利益剰余金	1,370,556	1,378,712
自己株式	△34	△34
株主資本合計	1,623,685	1,631,841
純資産合計	1,623,685	1,631,841
負債純資産合計	2,042,875	2,025,470

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	660,583	695,105
売上原価	379,549	380,646
売上総利益	281,033	314,459
販売費及び一般管理費	236,854	242,284
営業利益	44,179	72,174
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	80	80
作業くず売却益	614	512
雑収入	760	742
営業外収益合計	1,468	1,348
営業外費用		
売上債権売却損	253	356
売上割引	2,014	2,141
雑損失	24	285
営業外費用合計	2,291	2,783
経常利益	43,355	70,739
税引前四半期純利益	43,355	70,739
法人税等	12,777	23,240
四半期純利益	30,578	47,498

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	43,355	70,739
減価償却費	16,370	16,426
貸倒引当金の増減額(△は減少)	427	△617
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△75	107
賞与引当金の増減額(△は減少)	16,820	29,157
退職給付引当金の増減額(△は減少)	—	△16,612
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,381	3,301
受取利息及び受取配当金	△93	△93
売上債権の増減額(△は増加)	△50,657	78,279
たな卸資産の増減額(△は増加)	13,676	△44,339
仕入債務の増減額(△は減少)	△32,244	12,225
その他	4,570	△41,355
小計	8,769	107,219
利息及び配当金の受取額	93	93
法人税等の支払額	△25,373	△34,540
営業活動によるキャッシュ・フロー	△16,511	72,772
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,000	△18,000
定期預金の払戻による収入	36,000	46,000
有形固定資産の取得による支出	△11,251	△28,521
無形固定資産の取得による支出	△2,240	—
その他	—	△384
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,491	△905
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△39,151	△39,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△39,151	△39,300
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△63,154	32,565
現金及び現金同等物の期首残高	686,898	725,049
現金及び現金同等物の四半期末残高	623,744	757,615

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ポンプ及びバルブの製造販売業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

区分	生産高(千円)	前年同期比(%)
ポンプ製品	258,967	30.7
バルブ製品	34,181	13.1
部品・サービス	124,526	△14.2
合計	417,675	11.8

(注) 1 金額は、製造原価によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

区分	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
ポンプ製品	363,008	15.0	223,139	23.0
バルブ製品	94,094	△27.6	59,004	△30.0
部品・サービス	310,756	0.1	107,118	△17.9
合計	767,858	1.5	389,261	△1.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

区分	販売高(千円)	前年同期比(%)
ポンプ製品	351,689	15.8
バルブ製品	58,459	△4.1
部品・サービス	284,957	△3.7
合計	695,105	5.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。